

9月1日は「防災の日」

～土砂災害への備えと情報収集～

詳細 危機管理室 ☎(32)6280



令和3年7月 静岡県熱海市で発生した土砂災害の様子（気象庁提供）

9月1日は防災の日。1923（大正12）年9月1日に発生した関東大震災が由来です。

近年、日本各地では大規模な自然災害が多く発生しており、本年7月3日に静岡県熱海市で起こった伊豆山土砂災害では、多数の人的被害・建物被害などが発生しました。現場は土石流や地滑り、急傾斜地の崩壊などのリスクが高いエリアに指定されていました。

苫小牧でも市内北部を中心に崖崩れや土石流の危険箇所が多数存在しており、警戒すべき区域は、市で発行している防災ハンドブックに掲載しています。また、最新の土砂災害警戒区域などは地区ごとに作成している土砂災害ハザードマップで確認することができますので、まずは、自宅や職場周辺などが危険箇所に表示されていないか確認しましょう。

こんな前触れ現象に注意!土砂災害から身を守る!!

一般的に土砂災害は、降雨や融雪で地中の水分が増して地盤が緩み、さらに長雨や強雨が続いたときなどに発生するとされています。次のような現象を察知した場合は、直後に土砂災害が起こる可能性がありますので、直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関に通報してください。

時間的切迫性



● 流水の異常な濁り



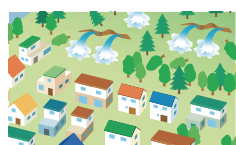
● 流木が発生
● 溪流内の転石の音



● 降雨時での水位の低下
● 山鳴り・地鳴り

土石流

山や川の石や土砂が、大雨などにより水と一緒に激しく流れ下る現象。



● 湧水量の増加
● 井戸水の濁り



● 亀裂の発生



● 山鳴り・地鳴り

地滑り

雨や雪解け水が地下に染み込み、断続的に斜面が滑り出す現象。
※地滑りの予測は技術的に困難であり、土砂災害警戒情報の発表対象となっていないので注意してください



● 湧水量の増加



● 小石がぼらぼら落下
● 湧水が濁る



● 小石がぼろぼろ落下
● 亀裂の発生

崖崩れ

雨や雪解け水、地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちる現象。



防災ハンドブック、土砂災害ハザードマップは市HPから確認できます

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/kurashi/bosai/jishin/handbook.html>



土砂災害警戒区域などの詳細は北海道HPから確認できます

<https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/others/displayDesignatedDetail.do?municipalityCode=01213>

